

新宮木協コミュニケーション誌

No.142 **1 / 1**



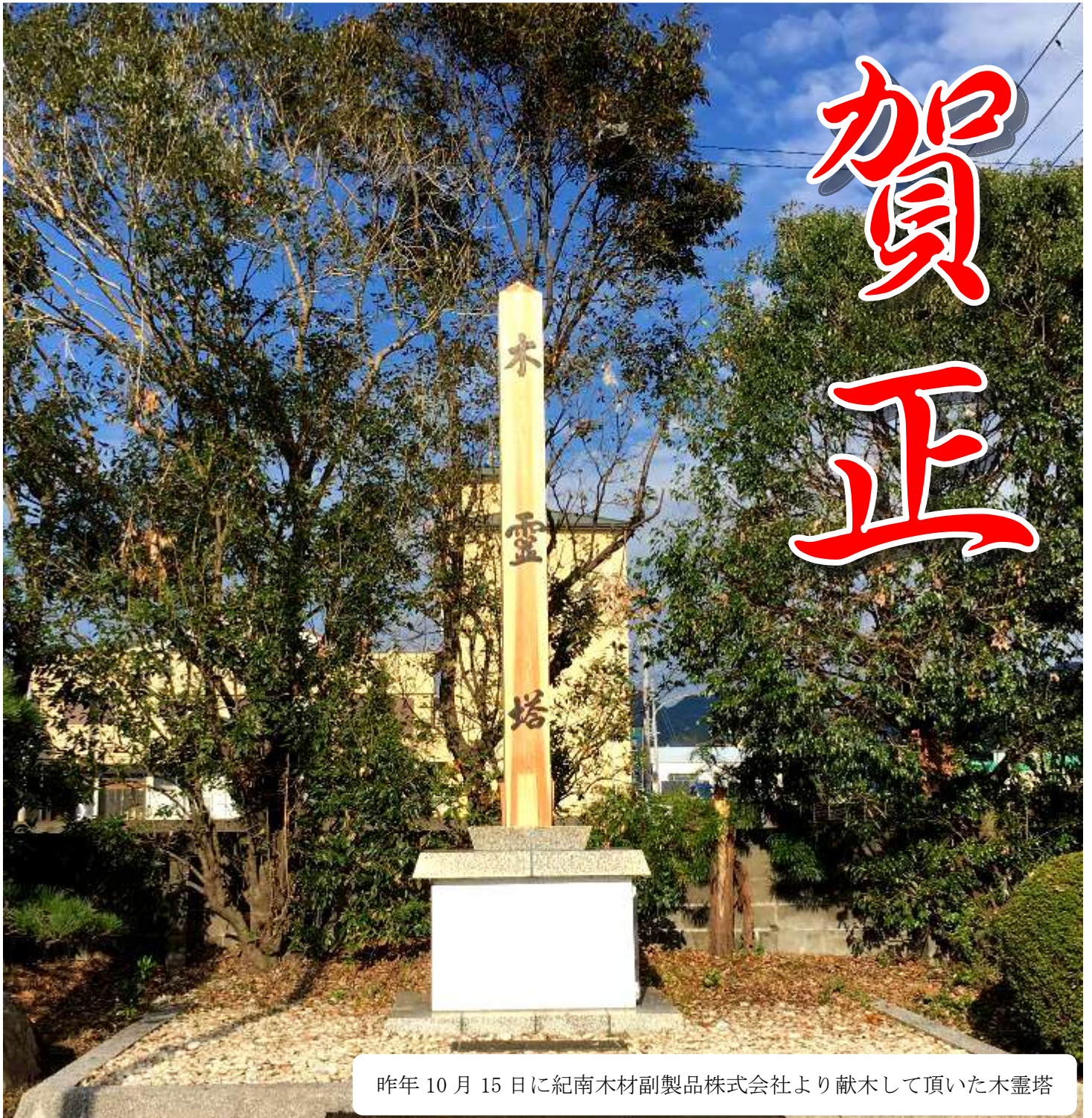
新宮

木協だより

2019年(平成31年)
(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号
TEL. 0735-22-6105(代)
FAX. 0735-22-6107

URL:<http://www.shingumokkyo.com> e-mail:s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp



昨年10月15日に紀南木材副製品株式会社より献木して頂いた木霊塔

(株)新宮原木市場 新春初市 1月18日(金)午前10時開市

新年のし挨拶

新宮木材協同組合

理事長 植松 浩

明けましておめでとう
ございます。旧年中は組
合活動に格別のご指導・
ご協力を賜り誠にありが
とうございました。本年
もどうぞよろしくお願
い申し上げます。

さて、組合の最重要課
題である「新宮・紀宝道
路」問題についてですが、
昨年十二月十二日の臨時
総会において上貯木場道
路建設部分の「土地売買
に関する契約書」等につ
いての議案審議がなされ、
全会一致で承認可決、同
月二十一日に国交省・和
歌山県と契約を締結致し
ました。

今後は下貯木場での試験
盛土等が完了後、上貯木
場を製品・丸太置場とし
て使用している組合員さ
んには下貯木場に移転し
ていただくことになりま
す。ご不便をおかけしま
すがご協力のほどよろし
くお願い致します。

また将来的に下貯木場
道路建設部分の契約締結
後、(株)新宮原木市場は上
貯木場に移転して営業す
ることになります。

ご承知のように「貯木
場」は明治中期に荒地・
藪地であった土地を開堀
して水面貯木場にし、そ
の後昭和のダム建設によ
り流送材の陸送転換をせ
ざるを得ない状況になっ

た際には、水面貯木場を
埋め立て陸上貯木場とす
る等時代時代に応じて変
化してきました。今回は
新宮・紀宝道路建設に伴
い貯木場の面積が激減し
形状が不整形となつてし
まいますが、残った土地
を如何に有効活用するか
等を検討していきたいと
思います。

新年を迎えるにあたり
今一度組合員の皆様にご
指導・ご協力をお願い申
し上げると共に、皆様方
のご健勝・ご多幸を祈念
し、新年の御挨拶とさせ
て頂きます。

謹賀新年

本年も
よろしくお願
い
申し上げます

組合員一同



会議で使用されている図面

年頭所感

(株)新宮原木市場

社長 谷口 泰仁

新年明けましておめでとう
ございます。

本年も原木市場に対し
まして格別のご支援、ご
協力を賜りますよう心よ
りお願い申し上げます。

さて、昨年8月30日の
第53期定時株主総会並び
に役員会に於きまして社
長に選任され再度就任致
しました。今後共一層お
引立て賜りますようよろ
しくお願い申し上げます。
更に多くの方からご愛顧
を頂き地域の原木流通機
関の使命を果たすべく役
職員一同懸命に努力して
参りますのでよろしくお
願い申し上げます。

昨年に引続き本年も原
木市場をご利用頂いてお
ります皆様には新宮・紀

宝道路事業に関連し、未
引取材の早期引取をお願

いしており大変ご迷惑を
お掛けしております。又、
今後「皮剥き機の移転」

「貯木場の移転」等でお
願い事やご迷惑をお掛け
する事項が山積しており

ますが、皆様への影響が
最小限となるよう心掛け
て問題解決へ尽力して参

りたいと考えております。
こうした状況の中、現
状では、住宅着工数、木

材需要量、製材工場数等
が落込んでおり市場の経
営方針もどのように進め

て行くか非常に難しい状
況にあります。更には業
界全体も縮小している中、

原木流通機関としての自
覚を持ち確固たる信念を
掲げ、周囲の動向に冷静

に移して参ります。

その一つとして、これ
までも行なうて参りまし
たお客様の立場にたった

きめの細かい応対、更に
一歩進めたお客様の求め
を先取りした形の対応等

お客様目線での迅速な接
客・運営について全役職
員が心掛けて行きたいと

思います。
そして、市場の効率化
には、優良材を中心とし

た集荷・販売を基本とし
ながら今後バイオマス発
電等による需要増加も見

込まれることから原点で
もある『原木の集荷』に
重きを置き川上へ積極的

に資金投資を行ない山林
購入等で確実な集荷を今
後も図って行きたいと思

います。その上で、時代
のニーズに合った経営を

進め、皆様方に必要とさ
れる市場としてより一層
精進して参りますのでよ
ろしくお願い申し上げま
す。

最後に新宮・紀宝道路

事業に伴う今後の大まか
な予定としまして本年2
月末に下貯木場の一部を

新宮木材協同組合へ返還
し、翌年に上貯木場へ皮
剥き機、選別機の設置を

行ない、市場機能を上貯
木場へ移転させる計画と
なっております。現在ご

利用頂いております皆様
方には多大なご心配をお
掛けしておりますが、市

場運営を止めることがな
いよう工夫と努力で数々
の問題を解決し、新宮原

木市場は営業を続けて行
きたいと思っております。ご
安心下さい。又、上貯木

場へ移転する際には1つ
の転換期と捉え、これま
で以上のサービスや仕組

みの変更を行ない新たな

新宮原木市場として生ま
れ変わりたいと思ってお
りますので、皆様方のご
協力、ご理解を頂戴致し
ますよう重ねてお願い申
し上げます。

新年早々皆様方にはお

願いする事ばかりであり
ますが、木材の町新宮に
在ってその中心的役割を

果たしてきた自負を持ち
新宮から原木市場の火が
消えないように役職員一

丸となつて頑張つて参り
ますので関係の皆様方に
は更なるご支援・ご協力

をお願い致します。新年
にあたりご挨拶とさせて
頂きます。

謹賀新年



旧年中の
お引立てとご愛顧に
厚く御礼申し上げます
本年も倍旧のお引立て
を賜りますよう
お願い申し上げます
(株)新宮原木市場後職員一同



新宮・紀宝道路
経過報告

行政による説明会及び

特別委員会の開催

国交省・和歌山県・新宮市との話し合いについては今春頃からオプシヨン等の内容を具体化するために少人数での話し合いを行い進捗状況については特別委員会にてその都度経過報告をして意思の疎通を図って参りました。そうした中で行政（国・県・市）と話し合いを進める中で当組合の意向がある程度反映される内容となってきたことから、新宮・紀宝道路に協力するために平成 30 年 11 月 27 日説明会及び特別委員会を開催して組合員に説明し了承を頂きました。



説明会の様子

臨時総会を開催

平成 30 年 12 月 12 日正

式に機関決定するため

臨時総会を開催し新宮・

紀宝道路事業に関し上貯

木場一部の売買契約等に

ついて満場一致で承認さ

れました。又、下貯木場

の試験盛土、嵩上げ、舗

装等の工事についても併

せて承認されました。

出席者 25 名

（本人 19 名、代理人 4 名、委任状 2 名）



臨時総会の様子

売買契約書の締結

臨時総会で承認された

ことを受けて 12 月 21 日、

植松理事長、谷口副理事

長、瀬古副理事長立合い

の下、新宮木材協同組合

会議室に於いて国交省、

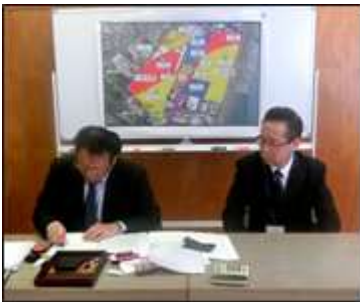
和歌山県との間で土地売

買契約書を締結致しま

した。



締結前の事前確認



契約締結の瞬間

盛夏特別記念市

恒例の盛夏特別記念市

が 8 月 4 日（土）午前 10

時から開催されました。

集荷量が少ない時期とし

てはまずまずの原木が集

まり盛況で終わりました。

集荷量：751³m³

平均単価：1万1300円

杉：1万0900円

桧：1万1800円



盛夏特別記念市の風景



新宮まつり記念市

毎年恒例の新宮木まつり

記念市が今年も 10 月 18

日・午前 10 時から開催さ

れました。

今回は 8 月、9 月に大き

な台風が立て続きに襲来

したため山からの出材が

計画通りに行かず集荷量

が少なくなっていました

ましたが、他の市場も状

況が同じなため丸太の単

価はとても高く盛況で終

りました。

集荷量：481³m³

平均単価：1万2400円

杉：1万1600円

桧：1万3700円



新宮まつり記念市の風景

台風被害状況

昨年は8月23日(水)に台風20号、9月4日(火)に台風21号、9月30日(日)に台風24号と大きな台風が紀伊半島を3つも襲来し猛烈な雨と強烈な風で多くの方に被害をもたらしました。

3つの台風はどれも非常に強い勢力を維持したまま紀伊半島に到達したため、新宮市内はもとより、近畿各地に甚大な被害を出しました。特に強烈な風がどの台風も吹いたため、電柱の倒壊や倉庫の屋根、更には倉庫自体が飛ばされる等台風通過後も生活に支障が出るものでした。

当組合も木材会館の屋上

防水シートが風によって捲られ、大会議室に雨漏れが発生する事態となりました。又、当組合員にも製材工場の屋根・壁の破損、所有山林の林道崩壊等多くの被害がでましたが、現在は夫々多くの人に協力を頂き復旧を終え営業を再開しております。関係者の皆様にはご心配をお掛け致しましたが、心温まるご支援、お見舞いを頂きましたこと心よりお礼申し上げます。



屋上被害



大会議室天井雨漏りのシミ



大会議室雨漏り処置



屋上被害



屋上修繕後の様子



表彰状の伝達

日時
平成30年10月18日(木)
広島県広島市『広島国際会議場 フェニックスホール』で行なわれた第53回全国木材産業振興大会に於いて木材産業功労者として長年新宮木材業界でご活躍されている、当組合理事の吉田一茂氏が全木連会長賞を受賞されました。表彰状を当組合理事会にて理事長より伝達させて頂きました。

全木連会長賞受賞
吉田一茂氏

出張

木工教室

紀南木材新緑会では新宮市及び東牟婁の小学校を対象に、木のぬくもりを触れ、木に親しんでもらうことを目的として、出張木工教室を毎年開催しています。

昨年、森林教育として実際に立木を前に新宮の木材の歴史・木の成長に掛かる時間・山の役割等を説明し、「木」をより身近に感じ、知識を深めて頂きました。

又、実際の作業ではミニベンチを製作し、慣れない工具に苦勞しながら木と真剣に向き合っただけで、改めて活動の意義を感じました。この活動を通して、子供達の心と木と触れ合った記憶が刻まれて、少しでも興味を持って頂けたら幸いです。

又、本事業にご参加、ご協力頂いた全ての皆様、心より御礼申し上げます。更に、森づくり基金等の補助金を活用させて頂き本当に有難うございます。

この事業も平成30年度で16年となり、きたる20周年に向かい会員一同1年1年大切に積み重ねて行きたいと思っております。

今後も未来ある世代に木と親しむ時間を提供し、木に触れあえる場を作つて参ります。

(久保 雅稔)



木に関する説明



製作風景

第40回 児童生徒木工工作コンクール

平成30年9月29日・30日の両日、第40回児童生徒木工工作コンクールを開催致しました。来場者数は台風の影響により175名と例年よりも大幅に減少致しましたが、天候の悪い中來場して頂いた方には本当に感謝申し上げます。

恒例となった各種イベントも大好評で、来場された子供達に楽しんで頂きました。

本展では28校、487点の木工作品を展示し、上位3点は、全国大会の審査にエントリーされ、その中で優秀作品に選ばれた際は今年6月に愛知県で行われる全国大会で表彰される予定です。

木工展に協賛いただいた各団体の方々、各小中学校の先生方、その他お世話になった皆様方に厚くお礼申し上げます。

(野中 亮伸)



来場者の様子



◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	平成30年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	7,100 (6,900)	9,300 (6,900)	8,000 (7,300)	4	6~13
	3m 14~20	11,500 (8,200)	11,800 (8,400)	10,300 (9,100)	3	14~20
	3m 22cm上材	10,200 (11,100)	12,800 (11,300)	11,900 (12,100)	3	22~
	4m 14~22	9,900 (8,700)	11,700 (9,700)	10,500 (8,600)	4	14~22
	4m 24cm上材	13,700 (12,600)	15,100 (10,900)	13,000 (12,700)	4	24~
檜	4m 小丸太材	7,100 (6,100)	7,700 (6,500)	7,600 (6,200)	4	6~13
	3m 14~20	12,200 (9,100)	14,500 (9,500)	13,000 (9,500)	3	14~20
	3m 22cm上材	14,400 (16,900)	16,800 (13,800)	12,800 (12,400)	3	22~
	4m 14~22	13,400 (11,300)	15,200 (11,100)	13,900 (10,700)	4	14~22
	4m 24cm上材	18,100 (19,200)	20,600 (16,500)	19,700 (14,300)	4	24~
杉総平均単価		11,100 (11,500)	13,300 (11,600)	11,600 (11,700)		
檜総平均単価		13,400 (15,400)	15,200 (14,300)	14,300 (11,700)		
総平均単価		11,900 (12,500)	13,800 (12,500)	12,000 (11,700)		

m³単価()は平成29年度

株新宮原木市場
第53期
定時株主総会

8月30日、新宮木材会館
に於いて(株)新宮原木市場の
第53期定時株主総会が開催

され、提出議案はすべて原案
通り承認可決され、取締役任
期満了につき選任の件では
取締役全員が留任となり、そ
の後の役員会で代表取締役
社長に谷口泰仁氏が再度就
任致しました。

全職再任
代表取締役社長 谷口 泰仁
代表取締役 植松 浩
取締役 森谷 功
取締役 岡崎 武人
取締役 久保 勝靖
取締役 日下 光
取締役 玉置 和夫
取締役 稲垣 幸二
監査役 山下 充洋



総会の様子

行事予定

1月18日(金) (株)新宮原木市場
新春初市 午前10時~

1月19日(土) ポウリング大会
午後5時半~

2月5日(火) 末社詣り
午前10時~

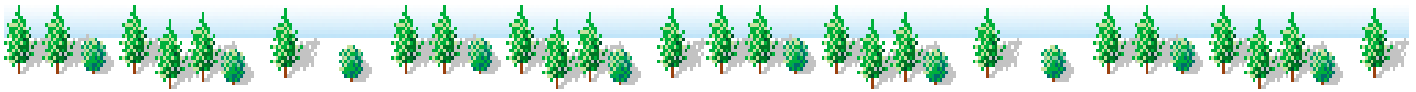


組合事務局の月一回休業
(土曜日)のご案内
(1月~6月)

1月26日(土)	2月23日(土)	3月23日(土)	4月27日(土)	5月25日(土)	6月22日(土)
----------	----------	----------	----------	----------	----------

事務局
年末年始休業のおしらせ
12月30日(日)
~ 1月6日(日)

第 59 回木霊塔建立供養式



平成 30 年 10 月 15 日組合恒例行事の第 59 回木霊塔建立供養式を開催致しました。当組合員の紀南木材副製品株式会社の代表取締役社長 三島 正人氏に、杉 100 年生超の素晴らしい木霊塔をご献木頂きました。

紀南木材副製品株式会社は紀南木材新緑会有志の発案で 1980 年（昭和 55 年）に木材関連事業者 64 名の出資により設立し、林業、製材業から出る木材の副産物を有効利用することを目的とし発足致しました。

当日はあいにくの雨でしたが、本広寺清水文雅住職にお勤め頂き滞りなく厳かに供養を執り行ない式典終了後は、木工展表彰式、紀南木材新緑会員に木協組合員も加わった木遣り音頭（本年は 1 番、2 番、3 番の歌詞で）の披露その後小雨の中盛大な餅まきが行なわれ、最後に来賓の皆様との親交を深める懇親会を行ないました。その後組合員、新緑会員一同で片付けの後、慰労会にて懇親を深め無事終了致しました。



木霊塔揮毫
(献木者を囲んで)



紀南木材副製品(株)
代表取締役社長
三島 正人氏による祭文



紀南木材副製品(株)
献木の木霊塔

編集後記

◇ 今回の表紙は木霊塔です。素晴らしい杉材です。中央の赤みが揺るぎなく天に向かっているように見えます。献木者の方には感謝申し上げます。献木者。いつものように本広寺の御住職の経文・読経、その中に「草木国土悉皆成仏」、この仏教語は「山川草木悉有仏性」と同様に、いい意味で自然の霊魂や精霊が宿るには固有のアニミズムと、様々な思想や宗教を融合するシンクレティズム（共時性）を併せ持つ考え方だそうなんです。そしてこの思想は、日本の財産（梅原猛先生・仏教学者）だといえます。私たちの毎年の木霊供養はそうした意味合いの下で行なわれていたように思います。

◇ 「植松理事長の新年のご挨拶より」一終末に近い数行（残った土地の有効利用：）は「新宮・紀宝道路」問題についての現状の理事長としての深い思索と責任感が伺えます。頑張って頂きたいと思えます。

◇ 近未来の若者達へ。今世界では「テクノロジー革命」とも言うべき事態が進んでいる。人工知能、ロボット・VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・宇宙開発事業等が爆発的な発展を遂げ、私達の生活を変えつつある。2045年にはコンピュータが全人類の知性の総和を超えるシンギュラリティ（技術的特異点）に到達するとの予測もある。：

人工知能の進化を日々肌身で感じ、その研究者としても有名なのが昨年「国民栄誉賞」を授与された将棋の羽生善治さんです。「人工知能の核心」羽生善治・NHK取材班より

◇ 自身の「業」のおもみ（重量）で、解体の方向へ傾いてゆくありさまは、もはや、地球がこれ以上の生命を載せきれない極点を見ているようである。金子光晴「一つの命が栄えるとは、別の命が朽ちること。人もまた、競争や扶養という関係の中で他者を淘汰させることによって生き残る？」「共生」ではなく「犠牲」なのか：「昨年の新聞コラム」より

◇ ゴーン事件は人間の業を改めて考えさせてくれました。

◇ 去年も全国で災害が相次ぎました。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。「ゆく河の名がれ」、鴨長明の方丈記の名文の書き出しです。（書かれた当時、1212年頃は地震、津波、風水害等、天変地異が相次ぎ人々は千辛万苦した様子が色々な資料からうかがえます）ゆく河の名がれは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かど消え、かつ結ぶため、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人と栖と、またかくのごとし。

— 健やかな佳きお年を
お迎え下さい —
(瀬古 稔)